

# 工程シミュレーション

工程計画をもっと手軽に

## < 問題点 >

工程計画を立てるうえで、ムリ・ムダ・モレがないように計画することは時間と手間がかかり、意外にも難しい作業である。

他の業務との兼ね合いも考慮して工程を立てることとなればさらに難しく、すべての状況を把握しきることは困難だ。

- ・納期、コスト、メンバー
- ・工程ごとの作業分担
- ・他業務との兼ね合いを基に勘で計画

時間がかかり  
面倒!



ボロボロの工程計画

- ・ムリがあり納期遅れが発生
- ・ムダがあり過剰コストが発生
- ・モレがありミスが発生

## < 解決方法 >

シミュレーションによって  
工程計画を簡素化

工程計画にかかる時間を軽減

他の業務との兼ね合いを認識

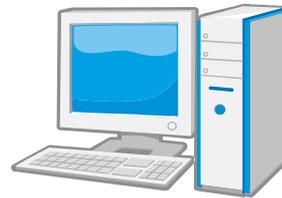
設定値による工数制限でムリを除去

余分な工数の削減でムダを除去

I S O手順に沿う計画でモレを除去

- ・メンバーのスケジュール
- ・I S Oの品質管理手順
- ・様々なパターンを基にシミュレーション

シミュレーションで  
簡単!



しっかりとした工程計画

- ・ムリがなく余裕をもって作業
- ・ムダがなく作業が効率化
- ・モレがなく品質が向上

## < 改善点 >

簡単な操作方法で手軽に工程計画を立てられるので作業の効率化が可能。

メンバーのスケジュールを考慮した結果で工程計画を立てることが可能。

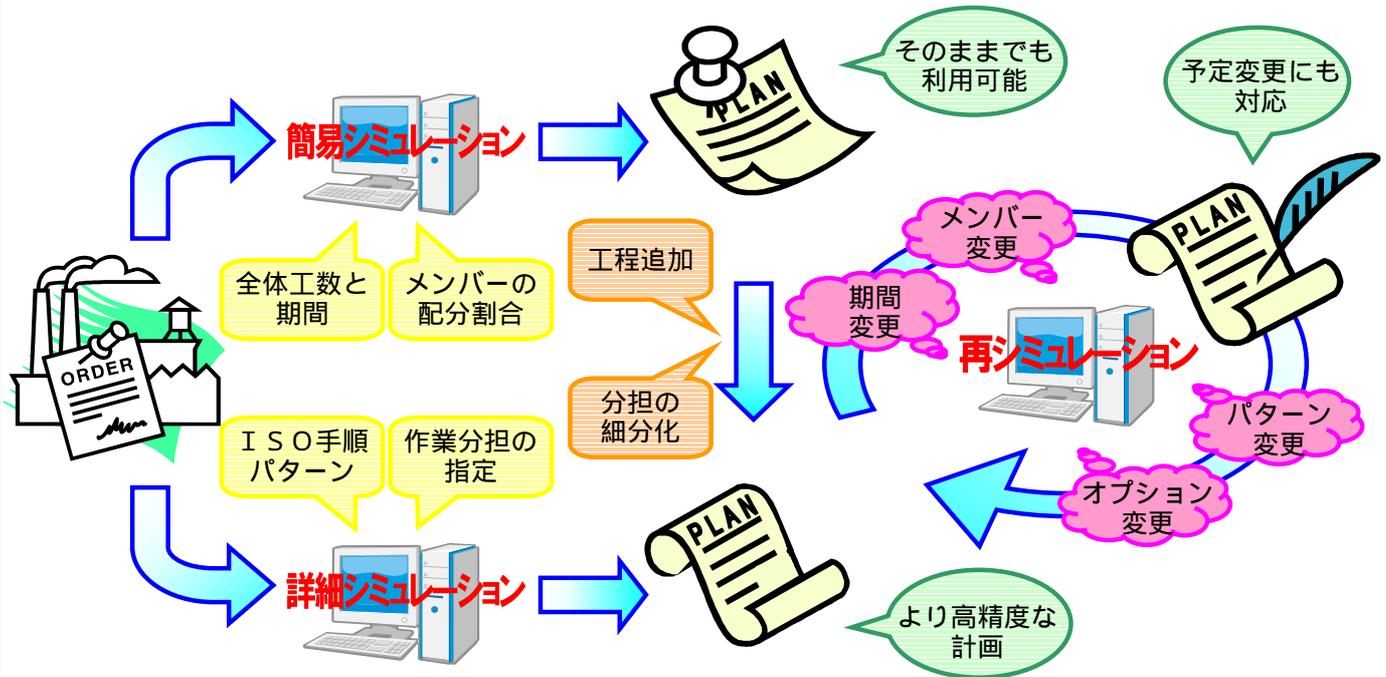
一日の工数が設定値を越えないように制限されるのでムリのない工程計画が可能。

工程計画時にムダな工数が削減されることによってコストパフォーマンスが向上。

パターン登録でI S Oの品質管理手順に沿ったモレのない工程計画で品質が向上。

見積り引合い時での経営判断（納期・人的支援・繁忙・コストパフォーマンスなど）がスピーディーに可能。

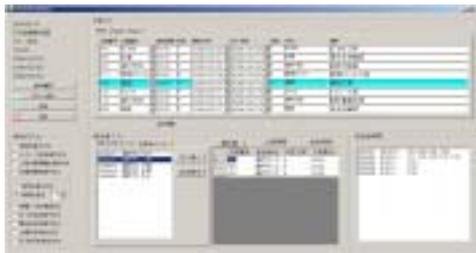
< 工程計画立案イメージ >



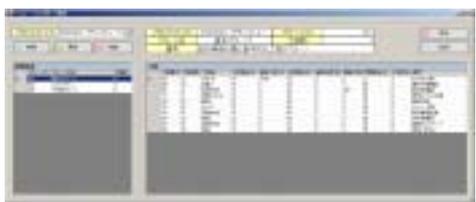
< 画面・詳細情報・利点 >



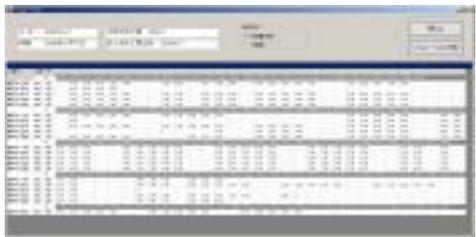
- < 簡易シミュレーション >  
全体工数と期間、メンバーの配分を入力するだけの簡単操作
- メンバーの状況を考慮して
- ・期間内に完了させるには1日どれだけの工数がかかるか
  - ・1日定時間（設定時間）すればいつまで期間がかかるか
  - ・均等に時間配分すると誰にどれだけ工数がかかるかなどが判断可能
- ・大まかな計画、見積り時の判断材料として使用可能



- < 詳細シミュレーション >  
工程追加、分担の細分化を行うことで高精度な計画が可能
- ・工程ごとに誰にどれだけ工数がかかるか
  - ・工程ごとにいつまでに完了すればよいかなどが判断可能
- ・綿密な工程計画、複数メンバーが担当するプロジェクトの工程計画に使用可能



- < 工程パターン設定 >  
様々な工程パターンを登録可能
- ・ISOの品質管理手順を基に設定
  - ・業務内容によって手順を標準化
  - ・工数、期間を全体の割合で登録可能
  - ・次工程の開始条件が設定可能



- < シミュレーション結果 >  
シミュレーションした結果を確認しながら工程計画が可能
- ・結果を見ながら様々なパターンで再シミュレーションが可能
  - ・結果を見ながら工数（時間）を微調整することが可能
  - ・結果を見ながらムリ、ムダ、モレがないか確認可能